



## 1. はじめに

かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)は、未曾有の被害を受けた東日本大震災と原発事故の福島県被災地の復旧・復興応援活動や、現地視察、被災者との交流、講演会の開催、神奈川県内への避難者との連携を図る活動を継続してきた。震災発災後 8 年を経過して、現地市町村のおかれた条件により、復旧・復興も様々な様相の違いも明らかになってきた。このような被災地の復旧・復興状況、共同体の再建、産業再生の事例や課題などは、自然災害が多発する我が国においてより多くの国民に紹介し、危機に対処して工夫し、困難に立ち向かう力を広く共有して、災害に負けない日本を作っていくことが必要である。

## 2. 参加目的

東日本大震災と原発事故の福島県被災地の復旧・復興応援活動や、現地視察、被災者との交流、講演会開催、神奈川県内への避難者との連携を図る活動など、kfop の過去 8 年余の活動を神奈川県民に向けて紹介し、被災地の復旧・復興状況、共同体と産業再生の具体例とその努力や課題を共有し、併せて福島県産品を販売し、地域の魅力を紹介するなどして、福島への理解と支持を増進することを目的とした。

## 3. 開催日時・場所

2019 年 9 月 27 日(金)～29 日(日) かながわ県民センター 2 階ホール前ブース

## 4. 設営・展示・販売・撤収

- ・ 27 日(金)10 時設営開始。

パネル板などの搬送・設営を平松・池田・鷹野克・矢島が対応した(敬称略、以下同じ)。

今年も kfop などのメンバーが県サポートセンター職員などと協力して、各団体が使用するパネル板およびポール一式を、15 階倉庫から 2 階ホールまで運搬し、組み立てた。この後、kfop 用のパネル(幅 120 cm×高さ 180 cm)6 枚およびポールを kfop 展示ブースまで運搬し、組み立てた。

机・椅子:展示・閲覧用に 2 階ホール倉庫より展示ブースに搬入した。

展示準備:設営終了後、平松・鷹野克・平野・長崎・矢島が展示パネル、図書、TV、配布物などをセットした。

展示応接:15～19 時、平野・東・長崎・矢島が対応した(適宜交代、以下同じ)。

物販応接:27 日(金)は販売なし。

- ・ 28 日(土)10 時～17 時

展示応接:渡辺代表・私市・東・長崎・矢島が対応した。

物販応接:村上・北田・平野・渡辺代表が対応した。

- ・ 29 日(日)10 時～15 時

展示応接:平松・渡辺代表・矢島が対応した。

物販応接:村上・柿木・渡辺代表が対応した。

展示撤収:15 時過ぎ、27 日の搬送・設営の逆コースで kfop などのメンバーが県サポートセンター職員などと協力して、各団体のブースのパネル板などの搬送・組立・解体・

搬送・収納にあたった。渡辺・池田・村上・柿木・平野・平松・矢島が対応した。



## 5. 展示構成および物産販売

パネル、図書、福島県と浜通り市町村のホームページ視聴、葛尾村の物産販売で構成した。

パネル

i .kfop の紹介と活動経過 新規作成A1サイズ大判印刷 パネル①、②

ii .既存パネル 5 面で現地活動の実施例を時系列で展示した。 パネル③

iii .最近の現地活動および連携活動の実施例を紹介した。 パネル④、⑤

展示図書(現地活動・視察研修・勉強会などの報告書とアルバム) 机2脚 椅子 6 脚

kfop の活動の実際を報告書やアルバムで、また、現地の被災の実際や、復興の課題について視察や講演・勉強会の開催の様態を展示した。

DVDで大熊町の被災状況と復興への計画をモニターで紹介した。 TV1、机1脚

葛尾村の物産として、甘酒、凍み餅、リンゴ酢サイダーを販売した。 机2脚

応接:会場には常時複数の会員が詰めて来場者の質問・説明・販売に対応した。

## 6. 来場者数

kfopのブースにある程度滞在して、質問・説明・交流など成立したケース								
	時間帯	パネル	図書閲覧	HP視聴	質問・対話	物販	アンケート	アドレス
27日	15～19時	10	8	0	5		3	
28日	10～17時	8	1		9	4		
29日	10～15時	8	1					
	期間合計	26	>10	0	16	16	10	

来場者とは kfop のブースにある程度の時間滞留して kfop の応接員と質疑応答、説明など一定程度の対話・交流が成立した人数とする。長い人で図書閲覧も含めて 20～30 分滞留した来場者もいた。短時間一瞥しただけの来場者もいたが、その人数は含まない。応接員がパネルの説明をしているのを見て自分も足を停めて展示を見る人もいた。また、福島出身の来場者も数名見られた。

## 7. 収支会計

かながわ市民活動フェア 支出額

年月日	摘要	支払先	立替	支払額	累計額
2019/07/20	市民活動フェア2019参加会費	市民活動フェア	矢島	2,000	2,000
2019/09/03	kfopリーフレット200枚	プリントパック	東	5,010	7,010
2019/09/10	展示物印刷費	Kinko's	矢島	7,830	14,840
2019/09/24	展示物印刷費	Kinko's	矢島	10,638	25,478
2019/09/24	消耗品 ヒッツキムシ、画鋏	有隣堂	矢島	766	26,244
2019/09/29	県民センター→渡辺宅展	ヤマト運輸	渡辺	1,261	27,505
2019/09/25	渡辺代表→県民センター	ヤマト運輸	渡辺	1,219	28,724
	予算額 50,000円			支出額合計	28,724

展示パネルは別の機会の利用に供すべく、印刷物とファイル、パネルで保存している。



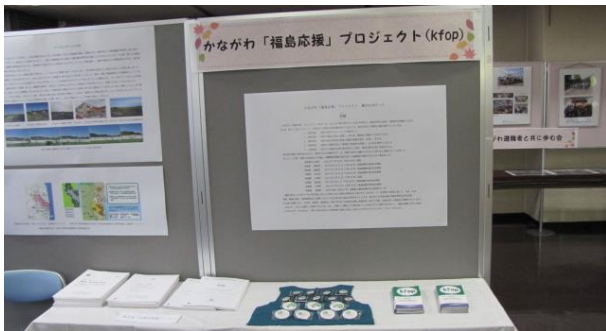
かながわ「福島応援」プロジェクト

事業 5: 災害復旧支援 かながわ市民活動フェア 2019 実施報告

寄付実績			預り	金額	累計
2019/09/29	寄付 1		渡辺	1,150	1,150
2019/09/29	寄付 2		渡辺	555	1,705

葛尾村物産販売 摘 要	計画			実績		
	個数	原価、支出	販売予定額	個数	販売額	小計
凍餅	15	304	350	14	300	4,200
甘酒	15	432	500	15	500	7,500
送料	1	960		1		0
リンゴ酢サイダー	24	283	350	24	350	8,400
振込 シヤ) カツリヨクソウゾウシヤ	1	172				
振込 シヤ) クールアグリ	1	172				
		19,135	21,150			20,100
					収益	965

8. 展示の状況



パネル①



パネル②



パネル③左



パネル③右



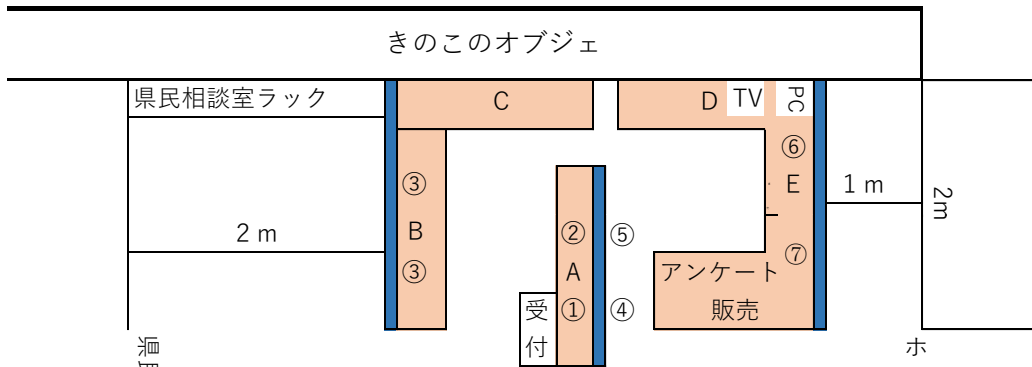
パネル④、⑤



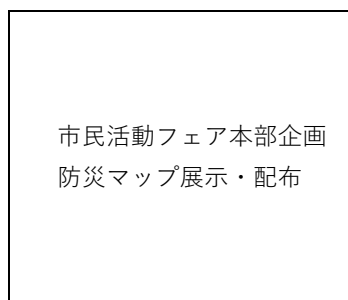
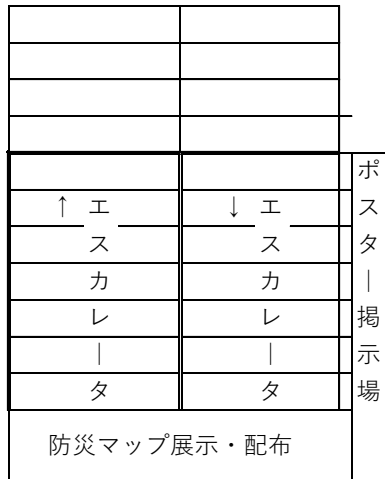
活動報告書・現地資料・図書等の展示



### 展示レイアウト



- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| パネル板  | : 180 cm幅、パネル(③⑥⑦)既存パネル |
| 展示販売機 | : 180×45cm、机A～E         |
| 机A    | : 葉、アンケート他配布            |
| 机B～D  | : 図書展示閲覧、TVモニタ          |
| 机E    | : 販売、アンケート回収他           |



あゆむ会  
ポラバズ



9. アンケート調査結果

ブースで応接し、対話・交流が成立した 18 名のアンケート調査結果は次のとおりであった。

かながわ市民活動フェア kfop来場者アンケート調査結果 (2019.09.29)								
0. Kfopブース来場者の属性								
性別	男性	女性	無回答					
人数	5	13						
年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
人数	0	0	0	2	3	7	6	0
職業等	学生	農林水産業	工業・製造業	商業・サービス業	公務員	無職	その他	合計
人数	0	1	1	4	0	10	2	18
1. パネル展示をご覧になった感想をうかがいます。該当するものに○をつけてください。								
選択肢	イ. 活動内容がよく分かった		ロ. まあ、理解できた		ハ. よくわからなかった		ニ. 別の展示を見たかった	
回答数	15		3		0		0	
感想・意見	・震災後少し経って訪れた時、仮設住宅を見て涙が出ました。今日も写真を見て思いました。							
	・たまに一緒に活動していますが、続けて活動していきたいと思えます。							
	・活動を今後も続けてください。							
	・きれいな所になりましたね。							
	・福島へボランティアとして入っていたが、また、被災地へ入りたい。							
	・活動の継続も素晴らしく、展示も丁寧で、一番良かったです。							
	・福島の方、頑張ってください。出来る協力はします。							
・ボランティアの皆様の奉仕精神とご努力に心から敬意を表します。								
2. 報告書などの展示物についての感想をうかがいます。該当するものに○をつけてください。								
選択肢	イ. 大変参考になった		ロ. まあ参考になった		ハ. 読み応えがなかった		ニ. 図書等は閲覧しなかった	
回答数	12		7		0		0	
感想・意見	・福島は仕事でよく訪れました。時間が経っても復興活動を継続しておられて励まされます							
	・進行形で変化を見られると良いです。							
	・何年も報告・記録を作られ、活動内容もさぞかしと想像でき、好ましく思った。							
	・機会あるごとに協力させてもらっている。頑張ってください！							
	・報告書や展示物の作成にも大変な労力が求められるのに、詳しく、美しくできていることに感心した。							
・今日は販売が無いとのこと残念。								
3. ホームページをご覧になったの感想をうかがいます。該当するものに○をつけてください。								
選択肢	イ. 今後よくチェックしたい		ロ. まあ興味を持った		ハ. 魅力がない		ニ. ホームページは見なかった	
回答数	2		2		9			
感想・意見	・現状をボランティアに行ける人、行けない人、両方に分かり易く伝えられると良いです。							
	・ホームページ、これから見てみます。							
	・大変な支援活動だと思う。高齢者や女性の方が沢山おられることにびっくりした。ご苦労様です。							
4. 物産販売について伺います。該当するものに○をつけてください。								
選択肢	イ. 地場産物紹介になってよい		ロ. まあ、よかった		ハ. 他の産物がよい		ニ. 物産販売の意義は感じない	
回答数	14		1					
感想・意見	・偏見を持たずに福島の産物を利用したいと思っています。							
	・偏った情報に惑わされている人が未だいるので、正しい情報を伝えられると良い。							
	・もう少しあってもよかった。							
	・未だ見ていません。							
	・リンゴ酢サイダーを買いました。							
	・大変ですが、品数があったらと思った。							
	・米は定期的に食しています。							
・出来る限り福島産の果物や米を購入し、少しでもお役に立てたらと思います。								
・福島県産のイチゴは人気があると思う。								
5. かながわ「福島応援」プロジェクトについて、感想・ご意見などご自由にお書きください。								
感想・意見	・汚染土の処理には多大な時間がかかりますが、やらなければならないこと。地道な努力に頭が下がります。							
	・自分も福島出身ですので、頑張っていたきたいと思っています。							
	・今後も続けて行かれると良いと思えます。							
	・今後も活動を続けてください。							
	・福島を応援されていることに敬意を表します。私も原発反対の声を上げていきます。							
	・いつも活動を応援しています。							
	・参加してみたいと思いました。福祉系の仕事をしています。							
	・ホームページを見て知りたいと思えます。							
	・持続的によく頑張っている。立派です。							
	・展示紹介ありがとうございます。							
	・頑張ってください。							
	・これからも福島のために頑張ってください。							
・これからも続けてください。								
記入されたメールアドレス	回答 0							
	「メールアドレスないんです。」							

## 10. 反省事項

### 1) kfop の取組みに関して

- ・ 担当の会員のご協力のおかげを持ちましてすばらしいブースであったと思う。ただし、展示ブースと物販ブースが分かれてしまった感があり、もう少し開放的であれば良かった。
- ・ 設営と撤収に人手は必要であるが、開催中は来場者に比べてスタッフの人手が余っていた感は否めない。当日のスタッフ配置は最小限に絞ってもよかったのではないかな。
- ・ 当初、県民センター9～11階利用者、特に若い層に期待して広報したが、実際にはそれらのグループからの来場者はほとんど見られなかった。アンケート調査の回答でも 30 代以下の来場者は皆無で、関心や意識の違いか、「福島」は彼らを惹きつける魅力的な話題とはなり得なかった。館内広報のみの限界だけではない。
- ・ 展示の一部として、福島県自治体など地方自治体や被災地の最近の動向などを見てもらおうべくホームページ視聴を計画したが、訪問者は皆無であった。関心を持つ人はいたが、市民活動フェアのような場で会場を一巡するには kfop のブースのみに長い時間を掛けられない。映像を含む展示は時間予告などの措置が必要。
- ・ 市民活動フェアの企画・実施にあたっての報告・連絡・協議が不十分で意思疎通がうまくいかず、また、企画・実施の会員全体への広報が行き届かず、会員とその周辺人の動員が少数にとどまり、kfop の活動など防災への意識・関心を高められなかった。

### 2) 市民活動フェア運営委員会に関して

- ・ 一般の方々に来ていただけるためには情宣方法においてもう少しメディアの協力を仰ぐ必要があったのではないかな。一考いただきたい。これはこの様なイベントの課題かと思う。
- ・ 全体として内輪の文化祭的なイベントで終わっている感じである。展示で出展している団体の会員もあまり足を運んでくれなかったということは、魅力が足りない、他の用事よりも優先度が低いということである。しっかり認識すべきと思う。
- ・ 一般の人を呼び込みたいのであれば、SNS などを活用した事前の告知が足りなかったと思う。
- ・ いっそのこと県サポ利用者にターゲットを絞って、どのような人が利用しているのか分析し、そういう人が参加・交流したいと思えるイベント企画を考えるのもひとつの手かと思う。
- ・ パネルの運び出しと片付けなどを各団体に任せるのは、やや無理があるように思う。特に設営は金曜の 10 時からだったため、来られない団体も多かったのではないかな。出展者とは別にボランティアを集めるなどの対策が必要かと思う。
- ・ 普段から県サポを利用している人から「2階でも催しをやっていたのは気づかなかった」と聞いた。案内パンフレットを配るだけでなく、どこで何をやっているのか周知する工夫が必要である。
- ・ 各団体の紹介ポスターを 2F ホール前に掲示しても、あまり効果はなかったように思う。掲示場所と掲示期間は再考すべきと思う。

### 3) 市民活動フェア 2019 本部広報に関して

- ・ 市民活動フェア運営委員会では、8月中旬以降、県民センター1階でポスターとチラシにより1か月間市民活動フェア 2019 の広報を行ったが、効果は限定的であった。また、ホームページもフェアの具体的な内容紹介もなく、情報宣伝と動員のネックとなった。



- ・ 9月以降、運営委員会ではフェア 2019 のチラシを持って県民センター9～11階の利用者を回り、フェアの宣伝をしたが、効果は乏しかった。また、県サポセンターの趣旨から館外広報もしていない。
- ・ フェア当日、来場者に市民活動フェアのプログラムで参加団体の活動概要を紹介し、県民センター2階ホール前にA3判ポスターを掲載したが、内向けの広報であった。



kfop の場内展示ポスター



**かながわ「福島応援」プロジェクト（略称：kfop）とは？**

東京電力福島第一原発の事故により、福島は甚大な被害を受けたばかりでなく、8年を経過した現在も復興には多くの課題が残り、風評被害や観光への打撃なども含め大きな苦難の中にあります。kfopは、福島の復興を神奈川から応援する趣旨・目的で、2012年1月11日に設立された団体です。

**私たちの活動の柱は次の3つです**

現地直接ボランティア活動を行う。

福島の復興の課題は何かを考える。

活動状況と結果を神奈川に発信する。

**福島の応援のために、神奈川からできることがあります**



**現地ボランティア活動への参加**

毎月1回、バスや乗用車で現地に行き、私達にできることを手伝います。当初は福島市での街中清掃（除染）、南相馬市での民家の片付け、草刈・剪定などを行いました。最近では、浪江町・川内村などの各市町村のボランティアセンターやボランティア団体を通じての民家の片付け・草刈・剪定や、田植えや稲刈りなどのイベントへの参加、ブドウ畑の育成、農作業の支援、海岸の清掃などを現地で行っています。



**福島を知る・学ぶ、いかに連帯するか**

現地ボランティア活動は現地の実態を勉強する最良の教室ですが、それに加えて、被災から復旧・復興への状況、共同体や産業の再生の課題などを現地視察研修するとともに、神奈川に講師を招いて、復興と産業再生の実際や課題などを学習する講演会や勉強会を開催しています。また「かながわ避難者と共に歩む会」や現地の団体その他と協力して、避難者や現地の要請に寄り添った活動を行うべく努めています。



**情報発信による理解と支持**

現地活動・視察研修・講演会などは、ホームページで参加者募集して実施し、活動結果を報告しています。神奈川県民に知って頂くことは理解と支持を得ることへの第一歩です。

**寄付を通じての活動参加**

現地活動にはなかなか参加できないのが実際ですが、寄付も活動への意思表示の強い一形態です。kfopの活動も多方面からの寄付を頂いて活動を継続しております。

《 現地活動、視察研修、講演会などの開催と実施結果の報告などは、kfopのホームページで公開しています。参加お申込み・お問合わせは、下記アドレスまでお願いします。》

ホームページ：<http://kfop.jindo.com/> 電子メール：[info.kfop@gmail.com](mailto:info.kfop@gmail.com)